

令和 8 年度
さやまっ子スイスイプロジェクト事業

学校教育部

スポーツ活動支援

教育指導課

体力と健康の増進 ～さやまっ子スイスイプロジェクト事業～

【概要】さやまっ子の「泳ぐ力」を伸ばしつつ、悩みごとを解決
することを目指す事業

①児童生徒(保護者)の悩みごと

- ・もっと泳げるようになりたい
- ・水難事故に合わないで欲しい

②学校教員の悩みごと

- ・水泳授業の人手が足りない
- ・授業中の事故が不安

【目標】
さやまっ子の
「泳ぐ力」を伸ばしつつ
悩みごとを解決していく

③教育委員会の悩みごと

- ・老朽化が進む学校プールを
維持することが難しくなってくる

【事業内容】

さやまっ子スイスイプロジェクト事業とはどんな事業であるか

	現在の水泳授業	泳力を伸ばすための新たな水泳授業
水泳授業の場	自校のプール施設	民間スイミングクラブのプール施設
水泳授業の内容	学習指導要領を基本とする	学習指導要領を踏まえつつ、民間スイミングクラブのノウハウを加え、泳力を向上させる
授業時間	1時間（45分）×10回前後	2時間（着替え・移動時間を除くと水泳授業は約60分）×4回を原則とする
授業期間	6月上旬から7月中旬まで	年間を通して計画的な水泳授業が可能となる
教員の役割	主に実技指導・安全監視・水質管理・評価となる	実技指導・安全監視・水質管理：民間スイミングクラブ 評価：教員
移動手段	—	徒歩またはバス

【効果1】

この事業では、これまでの学校施設での水泳授業を続けるより、どんな効果が期待できるか

	泳力を伸ばすための新たな水泳授業 メ リ ッ ト	泳力を伸ばすための新たな水泳授業 デ メ リ ッ ト
児 童 (保護者)	・ 泳力が伸びる、泳げることに対する喜びを感じる ・ 泳力のレベルに応じた指導を受けられる ・ 屋内温水プールのため、日焼けや熱中症の心配がない	・ 施設までの移動（徒歩またはバス）が必要となる ・ 着衣泳の実施が難しい
教 員	・ 学校プールに関する業務（清掃、水質管理など）が不要となる ・ 実技指導、安全監視を委託できるため、水泳授業に対する不安が解消できる ・ 季節、天候を問わず計画的に水泳授業を実施できる	・ 施設側と実施日時の調整が必要がある ・ 施設までの移動に伴う引率が必要となる
教育委員会	・ 学校プールの老朽化に係る費用（更新費用、維持管理費）を削減できる	

【効果2】

この事業では、これまでの学校施設での水泳授業を続けるより、どんな効果が期待できるか

これまでの水泳授業を継続した場合、今後40年間で要する費用

約86億円

この事業を実現した場合、今後40年間で要する費用

33億円(年間8千250万円)
の削減効果

約53億円



【現在の活動場所】

	令和 8 年度														
委託団体	スポーツクラブ I - F A (アイファ)			狭山スイミングクラブ					コナミスポーツクラブ入間						
該 当 校	南小	入間野小	山王小	御狩場小	狭山台小	富士見小	新狭山小	堀兼小	水富小	広瀬小	笹井小	入間川東小	柏原小	奥富小	入間川小
移動手段	徒歩	バス	バス	徒歩	徒歩	徒歩	バス	バス	バス	バス	バス	バス	バス	バス	バス
移動時間	14分	8分	6分	3分	11分	10分	9分	11分	12分	12分	12分	15分	18分	20分	14分

令和 8 年度から市内小学校 1 5 校全てを外部委託とした。